

木滑の一年

木滑では四季折々の里山祭「山笑い」を開催しています。「山笑い」とは春の季語で自然の賑わいをさす言葉ですが、白山ろくの里山では一年中、山も川も、人も動物も、みんなが笑って賑わっていたらいいな、という想いをこめて里山祭の名前としました。

大自然の中のおそびと、里山ならではの料理が楽しめる神社市もあります。みなさん、木滑に里山の四季をぜひ楽しんで、ぜひ遊びにきてください！

春の山笑い!

木滑では耕作放棄地になった場所を田んぼに再生し、春にはみんなで田植えを行っています。
もちろん先生は集落のおばあちゃん。間伐材を使用した木工あそびもあります。
神社市には里山ならではの山菜も並びます。気持ちの良い、春風の流れる里山を楽しめる季節です。
春山「里山祭」山笑いは毎年5月下旬に開催しています。



夏の作業

春から秋にかけては、無農薬でお米を育てるため、田んぼに裸足で入って手作業で草とりもします。
虫もたくさんいて、楽しいですよ。
是非、みなさん一緒にやりましょう!!
この時期は朝から作業をして、風の抜ける交流センターでお昼寝するのがサイコウです!

スコップ使って
みんなで開墾も
してるよ!!



秋の山笑い!

春にうえたお米を鎌を使って手刈りで収穫、天日に干すためハサにかけます。
ハサも、山に広がる竹を間伐して作ります。竹は浅いところに地下茎がはり、保水力も低いので、斜面にある竹林は雨による土砂崩れに弱く一旦崩れると一気に崩壊するので、手入れが大切になっています。キレイな水と空気、たくさんの方々の笑顔の中育った「山笑米(さんしょうまい)」を食べるため、稲刈りの技をおばあちゃんに伝授してもらいましょう! 秋山「里山祭」山笑いは毎年9月下旬もしくは10月上旬に開催しています。



冬の山笑い!

多い年には3mも雪が積もります! 一面に広がる雪の世界を昔ながらの「かんじき」をはいて猟師さんの案内のもと歩いたり、神社の横には巨大滑り台が出現。
秋に収穫したお米のわらを使って「わらぞうり」作りをおじいちゃんに習います。
まずは縄をなうところから始めるのですが、なかなか難しくとても楽しい!!
是非、冬ならではの里山の風景を見にきてください。
冬山「里山祭」山笑いは毎年2月中旬に開催しています。



かんじき登山

雪に覆われた922mの高倉山を「かんじき」をはいて頂上までのぼります! 景色がサイコウ!! 木々が葉を落とした冬だからこそ見られる景色が広がっています。
案内してくれるのは集落の猟師さん。山の色々々なことを知っています。運が良ければ、ウサギやカモシカ、サルなどたくさんの動物たちに会えるかもしれません。
みんなで雪山の頂上でお弁当を食べて、帰りはおしりて滑っておいでます!
高倉山かんじき登山は毎年3月上旬に開催しています。



アクセスMAP



【木滑へのアクセス方法】

●公共機関利用

JR金沢駅(5分)
→西金沢駅・(隣接)新西金沢駅(北陸鉄道)(約20分)
→鶴来駅(バス約40分)→上木滑

※バスは本数が少ないため、時刻表を事前にご確認ください。

●車利用

各IC→国道157号線(白峰方向)→工業の里(約15分)→木滑

【駐車場】木滑集落内

お問い合わせ

木滑里山保全プロジェクト

Tel.090-4684-6189

HP「木滑物語」:www.kinameri.net

Email:kinameri@g-voice.biz

Facebook「木滑里山保全PJ!!」

制作協力
高倉山研究会
(石川県白山自然保護センター、
松本崇司、八神徳彦)
石川県立大学
一般社団法人白山ふもと会
G.VOICE

笑
笑
笑

笑

笑

笑

山笑い

森づくりと

木滑物語

